

平成30年度第2回地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 議事録

日 時	平成30年7月25日（水）13:57～14:59	
場 所	天神スカイホール ウェストルーム	
出席者	委員	浜の町病院 院長 一宮 仁 福岡市医師会 副会長 寺坂 禮治 九州大学大学院医学研究院 准教授 福田 治久 公認会計士 行正 晴實
	事務局	福岡市保健福祉局長，同理事，同健康医療部長，同医療事業課長
	病院機構	理事長，運営本部長，法人運営課長， 福岡市立こども病院長，同事務部長，同総務課長，同経営企画課長， 福岡市民病院長，同事務部長，同総務課長，同経営企画課長
次 第	1 開会 2 議事 （1）平成29年度業務実績評価について 3 その他	
配付資料	資料1 地方独立行政法人福岡市立病院機構 平成29年度の業務実績に関する評価結果報告書（案）  参考資料1 地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針 参考資料2 地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領 参考資料3 地方独立行政法人福岡市立病院機構 平成29年度の業務実績に関する評価結果（案）まとめ	

## (1) 平成29年度業務実績評価について

### ○事務局

【資料1について説明】

### ○委員長

本日ご欠席の委員より事前にいただいたご意見について、事務局から報告をお願いします。

### ○事務局

「1-1-(1)良質な医療の実践（市民病院）」について、達成した数値目標が8項目中4項目であるということをご理解されたうえで、同じ指標を使う「3-2-(1)収益確保（市民病院）」の評価におきまして、前回の評価委員会の意見で、自己評価の3を4にあげてはどうかという意見と同様に、自己評価どおり4のままでよいのではないかというご意見でした。

「1-2-(1)こども病院」「1-2-(2)情報発信」につきましては、前回の評価委員会のご意見を踏まえまして3から4としていることに異存なしというご意見でした。

「3-1-(1)経営基盤の強化と運営費負担金の縮減」は、4のままでいいというご意見でした。3つの指標すべてを達成していることや市民病院の安定した病院経営の中で更なる伸びを示したことを評価すべきであり、さらに高い伸びを示しているこども病院と同じ評価4であることにつきましては、両病院の成り立ち、診療科目、病床数等、様々な点が異なることから、単純に達成率で比較できるものではないということでした。

「3-2-(1)収益確保（市民病院）」について、前回の評価委員会での意見のとおり、達成している指標を積極的に評価して4に上げるのが適切とのご意見でした。

「4-1 福岡市立こども病院における医療機能の充実」に関しましては、年度計画で予定していた成果をあげています。計画にはなかった新たな取組みで実績をあげている点を評価し、さらに全体を見渡して、他に5が一つもない点を考慮し、自己評価どおり5でよいのではないかというご意見でした。

小項目評価で事務局からお尋ねした6つの項目に関しては、最後の5以外は、いずれも評価4というご意見でした。

この他の小項目評価、大項目評価、全体評価に対し、修正等のご意見はございませんでした。

### ○委員

「1-1-(1)良質な医療の実践（市民病院）」について、8項目中4項目を達成している状況で、年度計画を上回って実施しているとする4と曇りなく言えるかといえば引っかけります。3という評価が普通ではないかという感覚を持っています。

### ○副委員長

8分の4ではありますが、年度計画の記載において、高度専門医療、救急受入れ、手術件数増加の文言が掲げられており、これに直結する指標というのが、新規入院患者数、平均在院日数、手術件数、救急搬送件数であるため、この4項目をより重点的にみるべき指

標かと感じております。そのうちの平均在院日数、新規入院患者数は、目標を達成はしていませんが、かなり近いところです。一方、手術件数と救急搬送件数については、かなり大幅に目標を達成しているのです、この点を抽出するならば、4という判断もいいのかなどと考えます。

#### ○委員

自分の病院であれば、3とします。達成が半分なら3と言われるのは事実です。しかし、先ほどの委員の話にあるように、項目によっては素晴らしいところがあるので、非常に悩ましいと思います。

一日当たりの外来患者数は、増やすように設定されていますが、これは世の中の流れからすると逆行していることで、減った方がいいものです。その考え方であれば過半数は達成しますが、市立病院という市民の皆様の目を意識すると3がいいのかという思いもあります。

#### ○委員長

4項目のうち、新規入院が増えたことは大変なことと定性的に価値あることです。手術件数が6分の1増えたことも定性的に価値あることです。救急搬送件数400件増も価値あることで、本質のところではいい数字を出しているのです、4でもいいかと思います。

確かに、8分の4で評価4なのですかと言われれば悩ましいので、全体の意見を集約して、もう一度意見をお願いしたいです。

#### ○委員

会社でも数字が良かったり悪かったりは普通のことであり、4対4は普通といいますか順調であるといえます。外部の人はそう見ます。ドクターの立場から、ここここは普通ではできないものだという思いがあるでしょうから、そのところをどういう風に加味して4にするなど、しっかりしたロジックを立てておかないといけないと思います。普通であれば3の評価になると思われます。

#### ○副委員長

市民の皆さんが見る際のことを考えると3が無難でしょうか。

#### ○委員長

内容的には必ずしも3ではないところがありますが、市民病院は市民の目を重要視すべきだと思いますので、3でよろしいでしょうか。

#### ○委員

はい。

#### ○委員長

「1-2-(1)患者サービスの向上（こども病院）」において、前回4にあげてもいいのでは

ないかという意見が出ました。事務局にも認めてもらい、評価も一致しておりますが、これでよろしいでしょうか。

○委員

はい。

○委員長

「1-2-(2)情報発信」のところで、同じように3を4に上げています。事務局も4にしています。4でよろしいでしょうか。

○委員

はい。

○委員長

「3-1-(1)経営基盤の強化と運営費負担金の縮減」のところで、市民病院につきまして自己評価が4ですが、事務局から4としてよろしいかと尋ねられております。評価委員会と事務局で評価が一致しておりますので、これでよろしいでしょうか。

○委員

はい。

○委員長

「3-2-(1)収益確保（市民病院）」について、自己評価3に対し、前回委員の評価は4ではないかとしておりましたが、事務局では3の評価となっております。これは、良質な医療の実践のところと同じような理論であれば、3に戻るのが適切ではないかとなります。3という評価でよろしいでしょうか。

○委員

はい。

○委員長

「4-1 福岡市立こども病院における医療機能の充実」のところは、自己評価5で、前回の評価委員会でも5でよろしいということでした。ここの評価も事務局と一致しています。この評価もこれでよろしいでしょうか。

○委員

事務局から説明があったように、評価の基準が変わってきています。私は、国の関係機関にて評価をしていますが、上の評価を得ることが難しくなっていると感じています。前のような高い評価は出ません。仮に小項目評価で高い評価をする場合は、別途推薦書に理由を書いて出すようになっており、8年やっけて1度だけ一番上の評価が出たことがあ

りました。フィリピンかインドネシアに火山があり噴火して湖が出来ているのですが、いつ決壊するかわからないところでした。ブイを浮かべて監視し、危ない時には逃げてもらうという装置を作りました。それで実際決壊したのですが、その装置があったため、5千人の命を救ったそうです。上の評価がでたのは、そういう大きい事例があったときだけでした。高度な研究をされていますが、一番上の評価を出したのは、その時だけです。5の評価は、なかなか取りづらく、他のところもそうであるので、そこも考えてもらえればと思います。

## ○委員長

前回、腎・泌尿器センターがどんなことをしているのか質問しました。医師でも知らない病気が多数ありまして、昔はほとんど亡くなっていたものが、今はどんどん助かるようになっていきます。こども病院と大学病院の小児科が取り扱いを分担し、先進的な治療にてたくさんの人を助けているということを聞いています。

## ○病院機構（こども病院）

私どもが特に評価したいのは、急性弛緩性脊髄炎の病気の患者が、たまたまこども病院に数例来て、その疾患に気が付き、全国調査になって、それが一流誌に通って、かつ厚生労働省がこの病気を五類感染症として追加し、全国的に報告するシステムを作りました。こういう病気を早期発見し、アラームを出せるシステムが出来た。こういう病気に対して新しいシステムを作ったということで5にしております。

## ○委員長

普通の一般病院ではなかなかできない業績です。

## ○委員

自治体病院として、地域医療構想でもそうですが、それぞれの病院がどういった役割があるのか、盛んにヒアリングされます。民間病院の方々のご意見は、補助金があるんだからといわれることが多いです。自治体病院として、補助金があって、一般病院でできないことをやっていることは非常にいいことです。

そして、「第3-2-(1)収益確保（市民病院）」が4から3になったところですが、ここの説明で8項目中4項目という話になっていますが、コメントに特別書かれていないが書くのでしょうか。52億円増収するのは至難の業ですが、それを達成しているので、コメントに書かないのであれば、4でもいいのではないのでしょうか。自院では経営が3%超えたら、ボーナスが出ます。そういった意味で経営の改善ということであれば4に該当するのではないのでしょうか。8項目がここに係るのであれば別ですが。

## ○事務局

同じ指標を設定しておりますことから、第1の良質な医療の実践のところと同じと説明を差し上げたところでは、確かに8項目の中で、どれが項目を達成するために必要なものかどうかという濃淡、重要度には差が生じてくるものと考えます。8項目中4という数字だけではなく、

達成している指標そのものの重たさが関わってくるかと考えております。その点は、私共は素人ですので、目標を設定している病院機構からご説明いただけると関係性はわかると思います。

#### ○委員長

収益確保はお金の部分が大きいです。前回の評価委員会でも議論しましたが、2億円の増収はかなりの要素なので、第1の良質な医療の実践と一緒に議論できないものです。

#### ○委員

収益はもちろんですが、利益がどういう状況であったかを判断しなければいけません。ただ、増収だということだけでは何とも言えません。やはり、半分達成しているということは考慮しないとイケないのではないかと考えます。

#### ○委員長

確かに収益は収入と支出の差でありますので、増収のみでは判断できません。

#### ○委員

計画の中には、指標の項目は何も書かれていません。

#### ○事務局

年度計画に関する指標に関しましては、直接的に影響があるかといわれるとそうでない部分もあるかと思いますが、例えば、手術件数が増えること、救急搬送が増えること、それが収益に結びつくということで、関連する指標ということで、第1で使ったものと同じものを再掲しているものです。委員がおっしゃるとおり、ここの第3の収益確保のところでは第1と同じ見方ができるかというところではない部分もあるかと思いますが、ただし、8項目中4項目が達成されているということは客観的には変わらないかと考えております。

#### ○委員長

こども病院もそうですが、運営費負担金のこともありますし、あまり収益ばかりに重きは置けません。重きを置けるとしたら、実際の8項目の指標になります。3でいいのかと思われま

#### ○委員

5の評価のところですが、こども病院がおっしゃったことをもっと書き込んでもらったほうがいいと思います。

#### ○委員

前回は、一流誌に載ったことに対し意見が出ました。そのことが最終的に厚労省を動かして、報告の体制ができたということまで書いておくといいと思います。

#### ○病院機構（こども病院）

米国一流誌に通るのは、大学レベルでも難しいものなのですが、それよりもこども病院としては社会に対して、五類感染症として追加するようなことが出来たということが大きなことではないかということで評価5としております。

#### ○委員長

その辺りを書き加えほしいです。我々が読めばすごいこととわかりますが、市民目線で理解できないところでしょうから。

#### ○事務局

保健福祉局で感染症を担当しています。厚生労働省から、急性弛緩性麻痺を認める症例については地方衛生研究所等において、ポリオウイルスを含む病原体を検出するための検査を実施するようという通知が出され、その後、5類感染症に追加されています。医師が診断した場合は、全例所轄の保健所に届け出ることが義務付けられており、全国で守られる影響力のあるものです。

#### ○委員長

この文章はホームページに出るのでしょうか。なおさら、価値あるものだと書き加えたほうがいいでしょう。

#### ○事務局

こちらの資料は市のホームページに掲載させていただくことになります。大変価値あるものだという認識がなかったことにつきましては、私共のヒアリング不足ということになろうかと思えます。評価にあたっての書きぶりにつきましては、こども病院のご指摘がございました通り、評価5とするには弱い書きぶりとなっておりますので、全国的にシステムが確立されたという大きな影響を及ぼした点につきまして加筆させていただきます。

#### ○委員長

その点は、こども病院と相談しながらよろしくお願いします。

#### ○委員長

では、意見も出尽くしたようです。各委員から出た意見を適切に市の評価に反映していただけるようお願いしまして審議について終了させていただきます。

その他
-----

#### ○事務局

【来年度の評価委員会の審議事項等について説明】

【委員の皆様の任期について説明】

本日の審議を持ちまして予定していた平成 29 年度の業務実績に関する評価については終了となります。